

令和4年度事業報告書

(自 令和4年3月1日 至 令和5年2月28日)

公益社団法人 日本パークゴルフ協会

1 事業の概要

令和4年度も新型コロナウイルス感染症への対応に追われた一方で、新規感染者数の減少に伴い、通常の日常生活に戻りつつある1年であった。

こうしたなか、当協会や各連合会、市区町村協会にあっても感染拡大防止対策を講じながら、3年ぶりに各種大会や講習会を開催するなど、徐々にではあるがパークゴルフの普及振興が推進された。

コロナ禍と相まって、各連合会、市区町村協会においては、会員の減少、高齢化、役員の成り手不足などの課題が山積し、中には組織を維持することができなくなり、当協会を退会する協会も散見されるようになったが、一方で新たに加盟した市区町村協会やコースもあり、組織の維持・拡大に向けた取り組みが大きな課題となっている。

コロナ禍や連合会等を取り巻く課題への対応の一助となればと、令和4年度においても各連合会に対して特別交付金を交付した。

公益目的事業のうちコース認定事業は、各連合会の主任指導員のご尽力により当初予定どおり実施した。指導者認定事業については、徹底した感染予防策を講じて講習会等を開催した。

普及事業では、コロナ禍により開催中止が続いていた当協会主催のNPGA杯全国大会等の3大会や協賛の全国大会等もその多くが3年ぶりに開催することができた。組織強化の取り組みとして、全国8会場でブロック会議を開催し、当協会や各連合会を取り巻く課題等について協議を行った。

広報事業では、広報紙「NPGA ニュース」を5回発行した。また、新たにパークゴルフをPRするポスターを作成し、各連合会やコース会員に配布した。

収益事業は、クラブやボールの認定が主であり、令和4年度はコロナ禍にあってもクラブ等の販売は好調で前年を上回る認定数となった。

2 組織に関する事項（令和5年2月末現在）

正会員	41	（前年同数 41 連合会～北海道 15、県等 22、政令指定都市 4）
普通会員	424	
賛助会員	47	
コース会員	338	
公認コース	349	
指導員	4,030名	
アドバイザー	4,840名	
役員	理事 15名（うち会長 1名 副会長 3名 常務理事 1名）、監事 2名	
職員	事務局 6名	

3 協会運営に関する事項

定時総会及び理事会を次のとおり開催した。

（1）令和4年度定時総会

令和4年4月21日

議決事項

- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度事業会計収支決算
- ・理事及び役員の選任について

報告事項

- ・令和4年度事業計画
- ・令和4年度事業会計収支予算

(2) 令和4年度理事会の開催

第1回理事会

令和4年4月5日

議決事項

- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度事業会計収支決算
- ・令和4年度功労者通常表彰の決定

報告事項

- ・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退

第1回臨時理事会

令和4年4月21日

議決事項

- ・会長・副会長・常務理事の選任について
- ・顧問の推薦について

第2回臨時理事会

令和4年7月28日

議決事項

- ・会費規程の一部改正について
- ・押印の見直しに伴う関係規程の一部改正する規程について
- ・指導者に関する規程の一部改正について
- ・特定費用準備資金の保有について

報告事項

- ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退

第3回臨時理事会（書面表決）

決議があったとみなされる日 令和5年1月10日

議決事項

- ・予算の補正について

第2回理事会

令和5年2月16日

議決事項

- ・令和5年度功労者通常表彰の決定

- ・令和4年度事業計画
- ・令和4年度事業会計収支予算
- ・日本パークゴルフ協会主催大会について
- ・役員報酬、費用弁償及び通勤手当支給要綱の一部改正について
- ・特別職職員で常勤の者の給与に関する規程の一部改正について
- ・職員給与規程の一部改正について
- ・令和5年度定時総会の招集について

報告事項

- ・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定

4. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

日本国内におけるパークゴルフの普及振興を図り、もって人々の心身の健全な発達と生涯スポーツの振興に寄与するために次の事業を実施した。

(1) 認定事業

1) コース認定事業

○新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定した。

(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

新規5コース、更新67コース、増設3コース

2) 指導者認定等事業

○パークゴルフの普及・指導にあたる指導者を養成し、かつ資質の向上を図り、組織的指導体制の確立を図るために実施した。コロナ禍により、集合しての認定講習会が開催できない場合は、書類審査のみによる認定となった。

実施主体 各連合会、市区町村協会 50回実施

指導員 937人 アドバイザー 455人

(2) 普及事業

パークゴルフ発祥の原点である「自然を大切に・世代間の交流・安全で楽しいスポーツ」を理念として愛好者の拡大を図るために各連合会及び協会が各種事業を実施した。手指消毒、体温測定、3密回避など新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら開催された。

1) パークゴルフふれあい事業

①新しいパークゴルフ愛好者への普及活動

- 初心者教室
- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等
- 大学体育指導者PG研修会への参画
- 連合会等普及活動事業支援(46事業)

②地域間交流、世代間交流を推進するための大会の開催及び後援活動

○日本パークゴルフ協会の主催事業

- ・「NPGA杯第12回全日本パークゴルフ大会2022 さっぽろ」

北海道 9月17・18日(土・日)

チャンピオン大会 191 人、交流大会 178 人、ペア大会 80 組 合計 529 人参加

- ・「第 36 回パークゴルフ国際大会」 北海道幕別町 6 月 19 日 (日)
一般の部 101 人、シニアの部 61 人 合計 162 人参加
- ・「第 36 回パークゴルフ北海道オープン」 北海道旭川市 7 月 3 日 (日)
一般の部 155 人、シニアの部 54 人 合計 209 人参加

○地域連合会との協賛大会

全国大会 (8 大会)

- ・「第 25 回パークゴルフ全国交流大会 さくらカップ」宮城県大崎市
5 月 7・8 日 (土・日) 264 人参加
- ・「第 20 回記念パークゴルフ全国大会 りんどうカップ 2022」岩手県洋野町
6 月 11・12 日 (土・日) 287 人参加
- ・「第 23 回パークゴルフ全国交流能美大会 日本海カップ 2022」石川県能美市
7 月 16・17 日 (土・日) 224 人参加
- ・「第 9 回全国パークゴルフ十和田大会」青森県十和田市
7 月 30・31 日 (土・日) 184 人参加
- ・「第 16 回全国パークゴルフ交流大会 in 射水」富山県射水市
9 月 11 日 (日) 376 人参加
- ・「第 28 回パークゴルフ全国大会イン開成」神奈川県開成町
9 月 25 日 (日) 180 人参加
- ・「第 11 回全国パークゴルフ東京大会」千葉県山武市
10 月 10 日 (月) 255 人参加
- ・「2022 第 28 回 JALCUP 相馬松川浦全国 PG 選手権大会」福島県相馬市
12 月 3・4 日 (土・日) 510 人参加

○複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会

7 事業のうち 5 事業実施 1,464 人参加。

2 事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

○市区町村協会、連合会設立についての各地域との相談業務

○令和 4 年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議

下記の連絡事項について説明し、課題等について協議を行った。

- ・「第 36 回パークゴルフ国際大会」について
- ・「第 36 回パークゴルフ北海道オープン」について
- ・「NPGA 杯第 12 回全日本パークゴルフ大会 2022 さっぽろ」について
- ・連合会普及活動事業支援金について
- ・令和 3 年度ブロック会議報告について
- ・今後の日本協会主催大会開催地について ほか

○連合会等へ支援を行った。

④改正後のパークゴルフ規則の周知

- ・事例集 (2022.5.1) を作成し、新ルールの周知を図った。

⑤関係団体との連携促進の取り組み

- ・日本スポーツ協会への加盟について同協会と協議を行った。
- ・ねりんピックパークゴルフ交流大会の開催（神奈川県開成町）
- ・日本レクリエーション協会全国大会でのパークゴルフ体験会の実施（兵庫県姫路市）

⑥パークゴルフの日（8月9日）の宣伝活動の実施

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら大会・交流会・教室等を実施

⑦海外普及活動

- ・国際大会を開催したが、コロナ禍により海外からの参加は無かった。
- ・カナダ、スコットランド、アメリカ、韓国など海外からの問い合わせ等に対応した。

2) 広報事業

協会機関紙の発行は、年5回（11月を除く奇数月発行）で毎号約8,200部発行。NPGA全会員、指導員、関係機関等及び定期購読者へ配付し、愛好者の増大につながる情報を伝えた（スポーツ振興くじ助成を活用）。ホームページを運営し、広くパークゴルフの認知拡大を図った。

- ・ホームページでは、より多くの方に役立つサイトになるよう仕様の改善に努めた
- ・パークゴルフの各種リーフレット等を広く配付し、パークゴルフのPRに努めた。
- ・ポスターを作成し連合会、コース会員、賛助会員等に配布した。

3) 研修会等事業

○指導者研修会の開催

パークゴルフの指導にあたる指導者(アドバイザー・指導員)の資質の向上を図るために実施。コロナ禍により、集合しての研修会が開催できない場合は、書類申請のみによる研修会受講を認めた。

実施主体 各連合会、市区町村協会

延164日実施、指導員 2,653人、アドバイザー 2,186人

2. 収益目的に係る事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 認定審査委員会を24回開催し、クラブ、ボール等の審査・認定を行った。
(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

令和4年度パークゴルフ用具の認定数（認定シール発行数）

認定品目	商社数	認定数	前年度認定数
クラブ	12社	62,660本	49,280本
ボール	8社	280,950個	244,100個
ティー	5社	21,850個	21,600個

(2) 商標使用申請の承認

- 認定審査委員会を開催し審査を行った。
 - ・承認件数 15件(すべて営利目的外)

(3) 書籍等販売事業

○ パークゴルフの正しい普及のため、「オフィシャルガイドブック等」を販売した。

- ・ オフィシャルガイドブック 688 冊
- ・ ミニガイドブック 940 冊

○ パークゴルフの普及のため、「バッチ・のぼり」を販売した。

- ・ パッキーのぼり 230 枚
- ・ 表彰用メダル 129 個
- ・ バッチ 11 個